



板橋ともゆき 市政レポート

2012

Itabashi Tomoyuki Report

vol.30



6月 定例議会を終えて

川口市議会第65代議長に就任!!

政府が発表した5月の月例経済報告においては、景気は依然として厳しい状況にあるものの、震災復興需要等を背景として、緩やかに回復しつつあるとしており、景気の先行きについては、ギリシヤをはじめとするユーロ圏の債務危

機による金融資本市場の変動や電力供給の制約等の影響を受けて、景気が下押しされるリスクが存在するとなっています。

一方で、電気料金的大幅な値上げは、国民の生活や回復軌道に乗るか未だ予断を許さない産業界に多大なる影響を与えることから、料金改定の承認については、東京電力の経常赤字解消だけを目的に決定することなく、政府に対して厳しい検証を望むとともに、東京電力が示す新たな経営体制の動向をしっかりと注視しなければならぬと考えています。

現在国会では、数年来の懸案である「社会保障と税の一体改革」に関連する7法案について審議が進められています。

これら全てが国民一人ひとりの生活や将来設計に直結する重要法案でありますので徹底した議論を行なうよう強く望むものです。

そうした中、鳩ヶ谷市との合併後、初めてとなる予算編成と新たな組織体制による新年度が始まり早や3か月が過ぎ、先に開催された6月定例議会（6月4日～22日）では、予算議案、一般議案、議員提出議案等が審議され全て可決されたところであります。

また、議会最終日には、現議長が辞意を表明され選挙の結果、不肖私が第65代の川口市議会議長に就任するに至りました。

二元代表制の一翼を担う議会の権能向上、公平で公正な議会運営、議会改革等、誠心、誠意、最善の努力を尽くして重責である議長職を全うする覚悟であります。引き続き皆様のご指導、ご鞭撻を心からお願い申し上げます。

防災

総合防災訓練について

本年度の総合防災訓練では、8月26日、S K I PシティのB街区を中央会場に、全市町会・自治会の参加の下、自主防災組織や防災関係機関、行政が相互に連携し、防災力の検証を兼ねた総合的な訓練を実施する事になっています。

また、上青木公民館に於いては、避難所開設・運営をシミュレートした避難所開設図上訓練を計画しています。

さらに、今回初めての試みとして、中央会場に隣接して防災フェアを開催する予定です。

これは、各種防災関係機関のPRブース、特殊車両の展示、地震車による地震体験や防災スタンプラリー等、「見て、触れて、考えて」をコンセプトに、実体験をおして市民の防災意識をさらに深めてもらう事が目的です。



今後も災害対応能力の充実強化や「自助」「共助」「公助」の醸成を図ると共に、防災対策のさらなる推進に取り組んでもらいたいと考えています。

調査

市民意識調査の結果について

本市では、総合計画の検証と進行管理に資するために、市内在住の18歳以上の市民5,000人を対象に、今後の居住意向や本市の施策に対する評価などについての調査を平成18年度以降、毎年実施しています。



昨年の12月に行った調査結果によると、今後も本市に住み続けたいとする方の割合は、前回よりも0.8ポイント増え、84.9パーセントとなり、調査開始以来、過去最高の割合となり、5年間連続して8割を上回るなど、定住志向は高い水準で安定したものととなりました。

今回は、鳩ヶ谷市との合併後、初の調査となりましたが、地域別の居住意向では、鳩ヶ谷地域の方の住み続けたいとする割合は、84.0パーセントで、合併後の事務事業の内容や新市へのスムーズな移行が鳩ヶ谷地域の方々にも、一定の評価を得られたと考える一方で、新郷地域では78.4%と地域別で最下位であり、意識の地域格差について今後検討する必要があると感じています。

プレミアム付き
商品券発行
支援事業について

本市ではこれまで、川口商工会議所などと連携し、商業振興策の一環として、プレミアム付き商品券発行事業を進めていました。

昨年は、鳩ヶ谷市との合併を記念して、発行団体に鳩ヶ谷商工会も加わり、新市の一体感がより高まったところでもあり、本年度の商品券発行事業の支援についても、引き続き強い要請を受けていました。

そこで、商品券の使える店舗を増やすとともに、商品券の使用期間を3カ月から5カ月に延長するなどの改善を図った上で、引き続き支援していく事になりました。

本年度についても、昨年同様、個店専用商品券をより魅

新校基本計画について



本市の市立高等学校の歴史は昭和4年、川口町立川口実科高等女学校の創立に始まり、昭和17年の川口市立川口実科工業学校、昭和31年の川口市立川口商業高等学校の創立により3校体制となり、各校がこれまで、輝かしい歴史と伝統を築いてきました。

一方、先月の「こどもの日」に総務省が公表した調査結果によると、子どもの数は30年連続で減少しており、本市に於いても、将来的には高校入学年齢人口の減少が予測され、さらに、校舎についても、3校とも建築後40年以上が経過しており、建替えが不可欠の状況にあります。そうした中、選択と集中を図ることにより、本市の高等学校教育の質的向上を果たし、さらには、小中学校を含めた本市全体の学力向上のリーディング校とすべく、この度、市立高等学校の再編・統合を行なうことになりました。

再編・統合については、昨年1月の「川口市立高等学校在り方審議会」の答申を受けて策定した「市立高等学校の今後の在り方に係る基本方針」に基づいて協議を重ね、開校予定年度を平成30年度とする新校基本計画が、本年3月に策定されました。

この基本計画によると、新校の校舎及び第1

グラウンドを現在の川口総合高等学校の地に、第2グラウンドを現在の川口高等学校の地に、それぞれ設置することになっています。

また、定員については、全日制は1学年あたり普通科10クラスと理数科2クラスを、定時制は1学年あたり総合学科3クラスをそれぞれ設置するもので、全日制1,440人、定時制480人の大規模な学校となっています。

新校の基本理念は、全日制に於いては、「文武両道に優れ、徳力を備えた地域社会のリーダーとなる人材を育成する学校」、「科学技術創造立国である我が国をリードする人材を育成する学校」であり、定時制に於いては、「多様な生徒の興味・関心や進路希望に対応し、特に進路保証ができる教育を推進する学校」となっています。本市の子どもたちが思う存分勉強や部活動などに励むことができ、

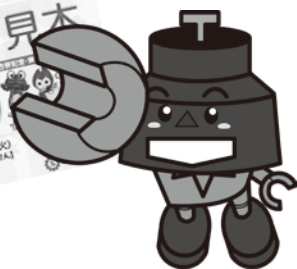
また、市民から誇りと憧れを持たれるような魅力ある市立高等学校とすべく、関係者の皆さんには全力で取り組んで頂くと共に、私も川口高等学校の同窓会長として関わって参りたいと考えています。



力的なものとするためプレミアム分を20パーセントに、大型店でも使用できる共通商品券はプレミアム分を10パーセントにし、発行総額8億円の内、プレミアム分と事務経費等を助成するものです。

なお、東日本大震災により本市に避難されている被災者の皆さんに対しても、昨年同様、復興支援の一環として支援金を募り、商品券を贈呈する予定です。

この商品券発行事業がさらなる市内の消費拡大と商業の活性化に繋がる事を願っています。



フェイスブック

http://ja-jp.facebook.com/tomoyuki.itabashi

twitter (ツイッター)

http://twitter.com/itabashi_tomo



板橋ともゆき プロフィール



昭和36年11月4日(丑年) 川口市東本郷生まれ
 血液型:B型
 こばと幼稚園 新郷小学校 東中学校
 市立川口高等学校 中央工学校 卒業
 資格:宅建 2級建築士
 不動産コンサルティング技能登録者
 ファイナンシャルプランナー (AFP)
 平成23年市議3期目当選 (4118票)
 平成24年第65代市議会議長

市議会議員に出来る事は何なりとご相談ください!



板橋ともゆき政務調査事務所

〒334-0061 川口市新堀841番地

TEL.048-281-5246 FAX.048-285-9644

e-mail itaba-fp@sainet.or.jp

携帯でサイトへ!

各社のバーコード対応機種で
ご利用出来ます。

出前市政
報告会!

板橋ともゆきは、一人でも多くの市民の皆様々に市政の現状や課題をお伝えするため、出前市政報告会を行っています。「川口市政、市議会に言いたい事がある。」など、報告にとどまらず、ざっくばらんな市政について意見交換が出来ればと思っています。ご希望の方は、メールかFAXにてご連絡下さい。お待ちしております。

ご意見・ご要望を下さい!

市政全般について、板橋ともゆきについて等、どんなことでもかまいません。ざっくばらんなご意見・ご要望をお待ちしています!

FAX

◆ご意見を記入して下さい。

送信用紙

048-285-9644

フリガナ
お名前

住所

電話番号

FAX 048-285-9644